

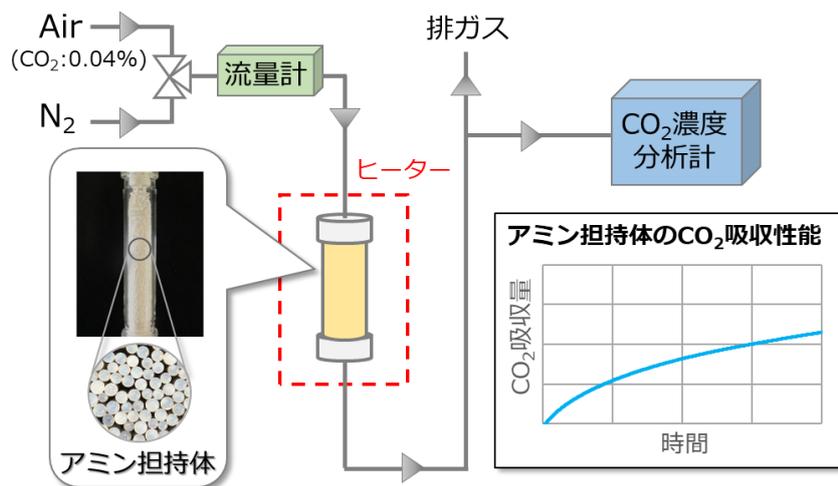
DAC 向け CO₂ 吸収アミン化合物の評価システム構築について

当社は、2024年5月9日付ニュースリリース「CO₂吸収アミン化合物の評価設備導入について」等で公表している通り、CO₂吸収材向けアミン化合物を成長ドライバーの一つと位置付け、積極的に取り組みを進めています。

当社は、大気中のCO₂を回収するDAC (Direct Air Capture) 向けCO₂吸収アミン化合物を自社開発の重点ターゲットと設定しており、その一環として、DAC向けCO₂吸収アミン化合物の評価システムを千葉研究所に構築いたしました。DACとは、大気中の低濃度なCO₂を直接回収・分離する技術で、2050年のカーボンニュートラル実現に向けて大いに期待されている技術です。本評価システム構築により、大気中の約0.04%という希薄なCO₂の吸収・脱離性能の評価が可能となりました。

CO₂吸収材は、排出源のCO₂濃度によりアミン化合物の設計が異なりますが、本評価システムを用いて、当社が有する100種類を超えるアミン化合物ライブラリーや新たに自社開発したアミン化合物について、DACプロセスでのCO₂の吸収・脱離性能評価を実施することで、DAC向けCO₂吸収材として適した高性能なアミン化合物の開発を加速してまいります。

当社は、CO₂吸収アミン化合物の開発、供給を通して、2050年のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。



以上